



# 平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 ペプチドリーム株式会社  
 コード番号 4587 URL <http://www.peptidream.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 窪田 規一  
 (氏名) 関根 喜之

TEL 03-3485-7707

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	535	△10.3	△72	△154.8	12	△92.4	5	△95.0
26年6月期第3四半期	597	23.3	132	△6.1	159	△5.9	107	△19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	0.40	0.34
26年6月期第3四半期	8.04	6.72

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	6,024	5,913	97.9
26年6月期	5,999	5,863	97.7

(参考)自己資本 27年6月期第3四半期 5,897百万円 26年6月期 5,860百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,222	171.4	953	373.4	1,033	365.5	652	339.5	47.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成27年5月12日)公表いたしました「平成27年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	13,803,300 株	26年6月期	13,433,300 株
27年6月期3Q	— 株	26年6月期	— 株
27年6月期3Q	13,629,650 株	26年6月期3Q	13,382,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成26年7月1日から平成27年3月31日）において、当社独自の創薬開発プラットフォーム・システムであるPDPS（Peptide Discovery Platform System）を活用した、国内外の製薬企業との共同研究開発活動は順調に進捗いたしました。

共同研究開発活動の具体的な進捗の例として、平成26年9月に、ノバルティス社と平成22年に始まり平成24年に延長した共同研究開発契約から見出された特殊環状ペプチド（ターゲットは未公開）について、後期非臨床試験に向けてさらなる最適化を行うことで合意し、契約を延長いたしました。さらに、平成26年12月には別の創薬ターゲットに係る共同研究開発契約も延長しております。

また、当社のPDPS及び特殊ペプチドの評価の高まりとして、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、2014年8月に米国サンフランシスコで開催された第248回「American Chemical Society National Meeting and Exposition」において、当社との共同研究開発により創製されたリードペプチドの例を用いて、分子量が500-2,000に相当する分子又は特殊ペプチドをミラモレキュール（Millamolecules）と名付け、当社のPDPSが新規特殊ペプチド創製にいかにか強力な技術であるか、また、いかにか特殊ペプチドが治療困難な疾患を対象とした標的分子に対し極めて高い潜在能力を有するかを示しました。

さらに、がんや感染症を含む多くの疾患の創薬ターゲットとして注目されているPD-1/PD-L1とCD80/PD-L1それぞれのプロテイン-プロテイン相互作用を阻害する特殊ペプチドに関する国際特許が公開されました。この特殊ペプチドは、当社にとって最初に認定されたリードペプチドであり、臨床試験をにらんだ今後の展開が期待されます。

なお、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社とは、平成25年9月にPDPSを非独占的にライセンス許諾する契約を締結しておりますが、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社への技術移転はすべて順調に終了し、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社内において特殊ペプチドの創製がすでに始まっております。

また、有名ながん遺伝子であり、創薬ターゲットとして非常に注目され、20年以上にわたって研究開発が続けられてきたにもかかわらず、有効な創薬候補物質がなかった細胞内Krasに対して、極めて強い結合能力を持ち、阻害活性を持つ特殊ペプチドに関する研究開発データが国際学会で英国メドゥイミュン/アストラゼネカ社から発表されました。これは当社の特殊ペプチドが細胞内ターゲットに対しても有効な創薬候補物質になりうるということの証左であり、今後の臨床試験への展開が期待されます。

当第3四半期累計期間においては、インフルエンザウイルス治療薬としての特殊ペプチドに係る研究開発の進捗についてご報告いたしましたが、このほかにも当社では特殊ペプチドそのものを薬にしていく自社創薬に係る研究を進めております。さらに、特殊ペプチドを他の化合物の誘導体（ホーミング）として活用するPDC（Peptide Drug Conjugate）に関する研究開発のプログラム数を拡大し、これらの研究開発を進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は535,589千円（前年同四半期比61,679千円減少）、営業損失72,798千円（前年同四半期は営業利益132,792千円）、経常利益12,124千円（前年同四半期比147,223千円減少）、四半期純利益5,417千円（前年同四半期比102,234千円減少）となりました。

なお、当社の事業は単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第3四半期会計期間の総資産は6,024,043千円となり、前事業年度末と比べて24,769千円増加しました。その主な要因は、売掛金の増加37,723円、有形固定資産の増加150,727千円等であります。

負債は110,358千円となり、前事業年度末と比べて25,709千円減少しました。その主な要因は、未払法人税等の減少25,698千円等であります。

純資産は5,913,684千円となり、前事業年度末と比べて50,479千円増加しました。その主な要因は四半期純利益5,417千円の計上、資本金の増加16,081千円、資本剰余金の増加16,081千円等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ2,010,402千円増加し、4,210,794千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益12,124千円の計上等があったものの、売上債権の増加額37,723千円、法人税等の支払額40,072千円等により、72,978千円の支出（前年同四半期比12,634千円の支出減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出209,196千円があったものの、有価証券の償還による収入2,300,000千円等により、1,987,063千円の収入（前年同四半期は3,428,523千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使による株式の発行による収入31,629千円、新株予約権の発行による収入12,781千円により、44,411千円の収入（前年同四半期比27,251千円の収入増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、平成26年8月12日付で公表いたしました平成27年6月期（平成26年7月1日～平成27年6月30日）の業績予想のうち「売上高」について、平成27年4月29日付「平成27年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において修正をした旨公表いたしました。

今般、最近の事業の動向を踏まえて、費用項目について人員・設備に関する費用や試験研究費に関する費用の見直しを行い、「営業利益」、「経常利益」、「当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」についても下記のとおり業績予想数値を修正することといたしました。

当期の業績予想数値の修正（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,222	百万円 631	百万円 570	百万円 367	円 銭 27.35
今回修正予想（B）	2,222	953	1,033	652	47.74
増減額（B-A）	0	321	462	285	—
増減率（%）	0.0	50.9	81.0	77.6	—
（参考）前期実績 （平成26年6月期）	818	201	221	148	11.09

※ 「売上高」については、平成27年4月29日付「平成27年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した予想数値と同一であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,400,392	5,410,794
売掛金	182,174	219,898
有価証券	2,200,000	-
繰延税金資産	20,400	13,904
その他	31,659	59,372
流動資産合計	5,834,626	5,703,969
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	8,101	19,946
工具、器具及び備品(純額)	156,405	295,287
有形固定資産合計	164,506	315,233
無形固定資産	140	3,535
投資その他の資産		
繰延税金資産	-	1,304
投資その他の資産合計	-	1,304
固定資産合計	164,646	320,073
資産合計	5,999,273	6,024,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,080	19,398
未払金	10,050	27,249
未払費用	40,796	27,420
未払法人税等	25,698	-
前受金	43,587	29,643
その他	6,854	6,646
流動負債合計	136,068	110,358
負債合計	136,068	110,358
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,734,254	2,750,336
資本剰余金	2,730,536	2,746,618
利益剰余金	395,404	400,822
株主資本合計	5,860,196	5,897,776
新株予約権	3,009	15,908
純資産合計	5,863,205	5,913,684
負債純資産合計	5,999,273	6,024,043

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	597,269	535,589
売上原価	233,311	369,744
売上総利益	363,958	165,845
販売費及び一般管理費	231,165	238,644
営業利益又は営業損失(△)	132,792	△72,798
営業外収益		
受取利息	3,780	5,502
為替差益	22,863	79,732
その他	2	339
営業外収益合計	26,645	85,574
営業外費用		
株式交付費	90	120
その他	-	530
営業外費用合計	90	650
経常利益	159,348	12,124
税引前四半期純利益	159,348	12,124
法人税、住民税及び事業税	28,257	1,515
法人税等調整額	23,438	5,191
法人税等合計	51,695	6,707
四半期純利益	107,652	5,417

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	159,348	12,124
減価償却費	52,842	73,307
受取利息及び受取配当金	△3,780	△5,502
為替差損益(△は益)	△15,490	△51,905
株式交付費	90	120
売上債権の増減額(△は増加)	△96,978	△37,723
仕入債務の増減額(△は減少)	2,285	10,317
未払金の増減額(△は減少)	△33,338	2,705
未払費用の増減額(△は減少)	2,587	△13,376
前受金の増減額(△は減少)	△47,742	△13,943
その他	△47,390	△17,435
小計	△27,566	△41,310
利息及び配当金の受取額	1,728	8,405
法人税等の支払額	△59,774	△40,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85,612	△72,978
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,200,000	-
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,200,000	△100,000
有価証券の償還による収入	-	2,300,000
有形固定資産の取得による支出	△28,523	△209,196
無形固定資産の取得による支出	-	△3,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,428,523	1,987,063
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,160	31,629
新株予約権の発行による収入	-	12,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,160	44,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,490	51,905
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,481,485	2,010,402
現金及び現金同等物の期首残高	5,572,450	2,200,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,090,965	4,210,794

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。